



もくじ

1. 2013 年度春学期 授業改善のための「学生による授業評価アンケート」実施報告
2. 2013 年度第 1 回全学FD講演会報告

1. 2013 年度春学期 授業改善のための「学生による授業評価アンケート」

実施報告

◇春学期アンケート実施状況

- ・実施期間：2013 年 7 月 1 日（月）～13 日（土）
- ・実施対象科目：演習・実習を除く全開講科目
- ・実施率：実施対象科目 731 クラス中 692 クラス実施 実施率 94.7%
- ・回答率：52.8%
- ・所見提出率：42.8%

科目毎の授業評価をクロス集計した結果の他、自由記述については全体的に内容を項目ごとに分類し集計したものを、本学HPで公開しています（学内アクセスのみ可能）。

また、今年度より担当教員が学生の実態を把握し、授業の問題点を抽出して授業にフィードバックできるような授業評価アンケートを目指して設問を一部改訂しました。

授業評価アンケートの事項と項目は以下のとおり。（健康・スポーツ学演習除く）

- I. 授業への学生の取り組み（出席率、履修の理由、自主的な学習時間、授業の理解度 他）
- II. 授業の内容と授業の進め方についての評価項目
 - ①動機づけ ②教員の熱意・配慮 ③講義内容、授業目標 ④成績評価基準 ⑤授業スキル
 - ⑥授業環境への配慮
- III. 総合評価
- IV. オプション項目

こうした設問項目の工夫により、学生の学習活動に対する自覚と向上を促し、担当教員においては学生の授業への取り組みの結果を受けて、より良い授業とするための検討材料を提供することを目指しています。

2. 2013年度第1回全学FD講演会報告

愛媛大学 教育・学生支援機構教育企画室長の小林直人教授をお迎えして、以下のとおりFD講演会を開催しました。

開催日程：2013年10月23日（水）13：20～17：40

テーマ：第1部「大人数講義法の基本」

第2部「クラスルームコントロール」

開催場所：聖ペテロ館 第6、7会議室

参加者：第1部29名（教員27名，職員2名），第2部16名（教員16名）

<概要>

講演は「大人数講義法のコツ」、「クラスルームコントロール」の2部構成で行われ、講義室で学生とコミュニケーションを取る方法、学生を積極的に参加させる方法や授業効果を高める方法など、気を付けておかなければならない様々な授業スキルを学びました。また、所属を越えたグループワークの中での課題の共有、討議を通じた気づきの共有など、中身の濃い研修となりました。

<アンケート結果> 回答者：22名

◎研修についての満足度 満足：96% どちらかといえば満足：4%

◎講師についての満足度 満足：96% どちらかといえば満足：4%

◎受講後の意見・感想

- ・アクティブラーニングの手法が良くわかった。
- ・グループワークのダイナミズムを体験しながら、具体的工夫や日々の授業の改善への意識が高まった。
- ・自分の講義で改善に役立ちそうなスキルを利用してみたい。
- ・自分の授業を見直すことができた。改善すべき点、新しく取り入れるべき点だけでなく、自分が実践している工夫の良さも確認できた。



全学FD推進委員会では、今度もこのような研修の場を設けるなど、全学的なFDの取り組みを推進して参ります。